Sakura City Council Newsletter

佐倉市議会だより

2026
＜令和8年＞
11月01日
No.122



千葉豪雨および台風による災害を受けて

千葉豪雨および台風により被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。また、復旧活動や被災者支援にご尽力されている皆さまに、深く敬意と感謝の意を表します。
佐倉市議会は、市民の命と財産を守ることを基本に、防災・減災対策の一層の充実と災害に強いまちづくりの推進に努めてまいります。

8月定例会

令和７年度決算・令和８年度補正予算など市長提出議案30件を認定・可決・同意

豪雨災害に伴う被災者支援および災害復旧に係る補正予算など

佐倉市議会は、8月24日から9月24日までの32日間にわたり、令和8年8月定例会を開催しました。今定例会では、市長から「令和7年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」など議案30件が提出され、審議の結果、認定、可決、同意しました。議員提出議案は「防災庁発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書」など4件がそれぞれ提出され、審議しました。また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に12人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

8月定例会 議案

市長提出議案／諮問	30件
議員提出議案	4件

※賛否・詳細は6頁を参照

決算審査特別委員会

令和７年度各会計決算９議案を認定

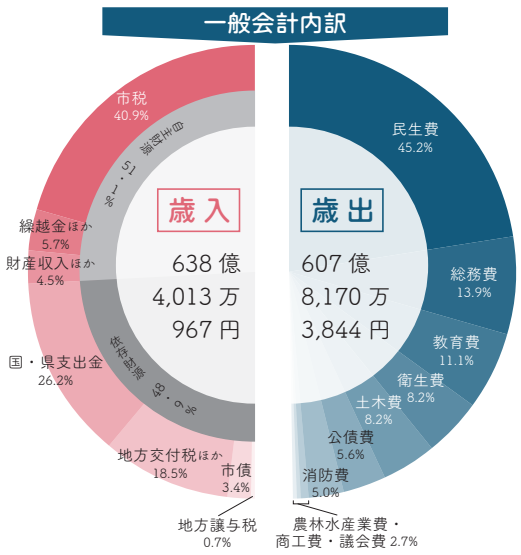
今定例会では、令和7年度各会計決算9議案を審査するため8月24日に決算審査特別委員会を設置し、9月14日から17日までの4日間、担当部課長等から説明を受けるとともに質疑を行い、慎重に審査しました。定例会最終日には、密本成章委員長から審査結果の報告が行われ、併せて次の6点について意見が述べられました。

決算審査特別委員会からの主な意見

①防災・減災の推進
②DX推進と持続可能な行財政運営
③気候変動対策とグリーンインフラの推進
④子育て支援および教育環境の充実
⑤地域経済活性化と農業産業振興
⑥地域共生社会の実現と福祉施策の充実



決算審査特別委員会委員（◎委員長 ○副委員長）
三谷英継、高木大輔、長谷川泰弘、石井秀明、木崎俊行、村田穣史、橋岡協美、望月圧子、◎密本成章、○押木孝和、松島 梢



令和７年度各会計の決算額　会計名の丸数字は議案番号

会計名		歳入	歳出	差引
①一般会計		638億4,013万967円	607億8,170万3,844円	30億5,842万7,123円
特別会計	②国民健康保険	166億4,998万43円	166億2,017万864円	2,980万9,179円
	③公共用地取得事業	31万8,691円	31万8,691円	0円
	④農業集落排水事業	2,270万3,960円	2,270万3,960円	0円
	⑤介護保険	161億9,106万4,852円	156億6,931万6,638円	5億2,174万8,214円
	⑥災害共済事業	501万1,441円	70万3,120円	430万8,321円
	⑦後期高齢者医療	38億2,145万9,658円	37億9,283万2,968円	2,862万6,690円
会計名		水道事業収益※1	水道事業費用※1	純利益※1
⑧水道事業会計		38億5,201万5,206円	37億4,223万8,902円	1億977万6,304円
		資本的収入※2	資本的支出※2	不足額※2
		2億1,475万8,506円	9億9,237万2,751円	7億7,761万4,245円
会計名		下水道事業収益※1	下水道事業費用※1	純利益※1
⑨下水道事業会計		37億6,059万1,228円	35億4,540万1,723円	2億1,518万9,505円
		資本的収入※2	資本的支出※2	不足額※2
		2億6,946万4,538円	12億4,799万2,077円	9億7,852万7,539円

※1 税抜き　※2 税込み

佐倉市議会ホームページ

発行／佐倉市議会　編集／広報公聴委員会　〒285-8501　佐倉市海隣寺町97番地　【議会事務局】TEL.043-484-6254　FAX.043-486-2508　E-mail. gikai@city.sakura.lg.jp

夏季（5～10月）の服装は、上着・ネクタイの着用を自由としています。

一般質問

8月定例会では、8月31日から9月3日までの4日間にわたり一般質問を行いました。市政に対し、活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

一般質問通告要旨

※は持ち時間60分、それ以外は30分。（　）内は会派名。
通告内容は、質問者が議長に文書で通告した内容のうち、実際に質問した大項目を掲載しています。

代表質問

望月圧子（さくら会）※
①市長の政治姿勢／②子育て支援・教育・福祉が充実したまちづくり／③にぎわいを生み出すまちづくり／④安心して暮らし続けることができるまちづくり／⑤当面の課題

押木孝和（公明党）※
①ＳＤＧｓを原動力としたまちづくりの推進について／②令和７年度決算総括について／③地域とともに子どもを育む環境づくりについて／④誰もが安心して暮らせる地域福祉の充実について／⑤高齢者の肺炎予防対策の強化について

徳永由美子（自由民主さくら）※
①佐倉市の人口減少と自治体に求められる少子化対策／②佐倉市の産業施策について／③教育環境について／④障がい者・高齢者福祉について

五十嵐智美（市民ネットワーク）
①令和７年度決算総括質疑について／②災害対策について／③平和施策について

石井　昇（日本共産党）
①市民の平和学習について／②学校給食について／③就学援助制度について

三谷英継（公開と改革）※
①市長の政治姿勢と市政運営について／②市立学校の設備・備品の維持管理について／③歴史・自然・文化を生かしたまちづくりについて／④公共施設の再配置と持続可能な市政運営について

個人質問

齋藤寛之（さくら会）
①ＳＤＧｓ未来都市採択を契機とした未来への投資／②命を守るＡＥＤ整備／③Ｗｅｌｌ－ｂｅｉｎｇを実感できる公園づくり

橋岡協美（自由民主さくら）
①佐倉市の広報と振り込め詐欺対策について／②猛暑時の災害から市民とペットの命を守る避難・支援体制について／③ペロブスカイト太陽電池を活用した農業振興について

密本成章（さくら会）
①ＳＤＧｓ未来都市の実現に向けた今後の取り組みについて／②森林整備流域連携協定を契機としたＥｃｏ－ＤＲＲ及び広域的な流域治水の推進について／③大学連携によるｅスポーツを活用した地域づくりについて

長谷川泰弘（公明党）
①佐倉市の魅力向上策について／②福祉の充実について／③市民生活の充実について／④安心・安全なまちづくりについて

伊藤とし子（市民ネットワーク）
①深刻化する環境過敏症（香害問題）対策について／②電磁波過敏症問題について／③水道料金を低減させる取り組みについて／④夢咲くら館汚水滞留問題について

松島　梢（市民ネットワーク）
①市長の政治姿勢について／②部活動地域展開について

鍋田達子（公明党）
①水害対策について／②通学路の安全確保と優しいまちづくりの取り組みについて／③猛暑における市民の健康を守る取り組みについて

稲田敏昭
①大雨被害について／②開発行為について／③中学校給食の無償化に向けて／④部活動の地域展開について

爲田　浩（さくら会）
①持続可能な地域コミュニティーの再構築について／②佐倉ふるさと広場拡張整備事業について

三井義文
①外国人対策の政治姿勢について／②不登校から見た教育改革について／③文化遺産保全の市の姿勢について

木崎俊行（日本共産党）
①災害対策／②公共施設の再配置は住民の意見を第一に／③データセンターの活用と問題点／④地域経済の現状と課題

敷根文裕（さくら会）
①令和８年８月千葉豪雨を踏まえた災害対応と水害対策について／②子どもの体験格差の解消と体験機会の充実について／③犯罪抑止と市民の安全・安心を守る地域防犯について

代表質問



さくら会

もちづき　あつこ
望月圧子

防災減災対策について

問　今後の取り組みについて市長に伺う。
答　想定外の範囲を可能な限り減らし、被害の最小化を図るため、必要な対策を講じ、市民の生命と財産を守ることを最優先に安全安心なまちづくりに全力で取り組む。

令和７年度決算について

問　一般会計決算について実質単年度収支が３年ぶりに黒字となるなど一定の改善が見られたが、多くの課題があると思う。この決算をどう評価しているのか見解を伺う。
答　財政状況に改善の兆しが見られたが、財政の硬直化が解消されたものではなく予断を許さない状況。一層の事務事業の見直しに取り組み持続可能な財政運営に努める。

子育て支援、教育が充実したまちづくり

問　保育料の現状と市が目指す子育て世代に優しいまちの実現に向けた考えを伺う。
答　自治体間の保育料水準の差は課題と認識しており、保育の質の確保や財政への影響等を踏まえ、利用者負担の在り方を検討する。今後も子育て世代の声を踏まえ、子育て環境の整備に向け、施策推進に努める。

佐倉ふるさと広場拡張整備事業について

問　将来像と整備スケジュールを伺う。
答　飲食物販施設やフラワーゾーン等を整備し、四季を通じて親しまれる観光拠点の形成を目指す。令和９年度から整備工事に着手し、令和11年４月の供用開始を予定。
問　地域活力の増進に資する事業として期待する。佐倉の顔として発展し、次世代に受け継がれる空間となるよう、市長のリーダーシップにより推進していただきたい。

西志津スポーツ等多目的施設用地について

問　施設用地の検討状況について伺う。
答　利用状況調査を１年間実施し、結果を公表する予定である。また、市ホームページや広報紙を通じて検討状況の周知を図る。
問　周辺住民等の関心が高いため、慎重に検討を進め正確な情報発信をお願いする。



公明党

おしき　たかより
押木孝和

ＳＤＧｓを原動力としたまちづくりの推進について

問　本年７月、佐倉市は内閣府よりＳＤＧｓ未来都市に選定された。これは、長年にわたり佐倉市が守り育んできた里山や印旛沼、谷津の豊かな自然、歴史、文化、資源、そして地域コミュニティーを大切にするまちづくりが、内閣府から高く評価されたものであり、本市にとって大きな一歩である。市議会公明党は、これまで一貫してＳＤＧｓの推進を訴え、ＳＤＧｓ未来都市を目指すべきと提案してきた。今回の選定を、本市の未来戦略の中核として、今後どのように推進していくのか、市長の決意と展望を伺う。
答　今回の選定は、印旛沼や里山、谷津などの自然資本を生かした持続可能なまちづくりが評価されたもので、大変意義深いものと認識している。選定をゴールではなく新たなスタートと捉え、「里山資本でひと・地域・地球を健康に～佐倉里山ウェルビーイングの実現～」を基本理念に、第５次佐倉市総合計画と一体的に推進する。市民、事業者、大学等との連携を深め、2030年、さらに市制100周年となる2054年を見据え、持続可能な佐倉市の実現を目指す。

朝の子どもの居場所づくりについて

問　共働き家庭や働き方の多様化に伴い、登校時間までの子どもの居場所を確保する朝の小１の壁への対応が課題となっている。市は、朝の子どもの居場所づくりをどのように捉え、その必要性を踏まえ今後どのように推進していくのか伺う。
答　子どもの安全確保と保護者の就労・子育て支援の観点から重要な取り組みと認識している。必要とする児童数や学校ごとの実情を踏まえ、市内４校程度をモデル校に選定し、多様な居場所づくり事業の実施を予定。関係機関と連携し、運営体制の整備

議員名横の二次元コードは各議員の録画映像へリンクしています。ぜひご活用ください。

など実施に向けた準備を進めていく。



自由民主さくら

とくなが　ゆみこ
徳永由美子

成田空港の機能強化を佐倉市の成長につなげる産業・企業誘致戦略について

問　成田空港の機能強化を、佐倉市にとって単なる企業誘致の機会ではなく、人口減少時代を乗り越えるための成長戦略として、どのように位置付けているのか伺う。

答　人口減少時代における大変重要な契機と捉えており、子育て施策や教育環境の充実、住環境の整備を進め、佐倉市の暮らしやすさ、魅力を積極的に発信することなどにより、本市の移住定住の促進や交流人口の増加、市内経済の活性化等につながる取り組みを全庁的に進めていく。

問　成田空港の機能強化は、佐倉市にとって新たな産業や雇用の創出、人口増加、税収の確保など地方創生の最大の機会と捉えている。20 年先を見据えた成長戦略として企業誘致や産業用地の確保、人材育成、子育ての環境の整備等に努めていただきたい。

問　企業誘致助成制度の対象に宿泊施設が追加されたが内容と誘致方法について伺う。

答　駅周辺に進出する一定の要件を満たした宿泊施設事業者に対し、固定資産税、都市計画税相当額の助成を行うことで、初期投資の負担軽減を図り、佐倉市への進出を後押ししていく。

小中学校体育館の空調設備について

問　小中学校の体育館に気化熱冷風機が設置されているが、不具合により使用できないものが散見される。今後どのように対応していくのか伺う。

答　避難所としての機能に支障が生じないよう、修理等の必要な対応を行っていく。

問　空調設備の整備を進めなければ、暑い時期に体育館を避難所として活用することはできない。喫緊の課題と考えるが、今後どのように整備を進めていくのか伺う。

答　児童生徒や利用者の熱中症リスクが懸念されるため、空調設備の設置については国庫補助も活用しながら順次進めていく。



市民ネットワーク

いがらし　ともみ
五十嵐智美

災害対策について

問　令和8年8月千葉豪雨は佐倉市での 24 時間降水量が 274.5 ミリを記録し、8月として観測史上最大。13 日 19 時 30 分にレベル5の大雨特別警報が発表されたが、避難指示は 19 時 50 分。誰がどの情報を確認し、発令時刻および対象区域を判断したか伺う。

答　気象警報、キキクル、河川水位、被害通報、浸水や土砂災害のおそれが高い区域等を踏まえ時刻や区域を検討。避難所の受入体制等を確認し、本部長が決定した。

問　佐倉市のホームページでは避難所開設情報がトップから２回もクリック。他市ではトップ画面から直接災害情報に行ける。八千代市はトップ画面が早期に災害対応の特別画面になっていた。発災当初から早く分かりやすく伝える改善が必要、どうか。

答　情報を迅速で分かりやすく提供することが重要であり、今回の課題を踏まえ改善に向け取り組む必要があると考えている。

問　千葉豪雨は都市型内水氾濫が特徴的な水害。豪雨下での避難や気象情報に対応した危機管理、道路冠水等の情報更新、浸水想定の見直しなど検証すべき事項が明らかになった。対策検討に向け、専門家を含めた検証委員会等の設置が必要。見解を伺う。

答　適切な時期に今回の災害対応を検証し、必要に応じて外部の意見も伺いながら、今後の防災対策の充実につなげていきたい。



日本共産党

いしい　のぼる
石井　昇

市民の平和学習について

問　佐倉の連隊は明治７年から昭和 20 年まで日本の近代化と戦争の一端を担ってきた。最も古い連隊の一つであり、その歴史は貴重な平和教材である。戦争遺構紹介リーフレットの改訂、遺跡の整備を進めるべきと考える。兵営の便所跡は、樹木に覆われ劣化が進んでいる。整備の予定はあるか。

答　歴史を今に伝える貴重な戦争遺構の一つで、重要な資源であると認識している。国有地内に所在し、国立歴史民俗博物館の管理区域にあるため、具体的整備計画はないが、今後も情報共有や意見交換を行い、保全の在り方を研究していく。

問　忠霊塔について伺う。もともとこの場所には陸軍墓地が存在していた。その歴史を記し、連隊遺跡として表示するのが適当と考えるが、その計画はあるか。

答　陸軍墓地の存在についてはリーフレットで紹介しているが、案内板の設置や表示内容の変更は予定していない。

問　平和之塔と同一敷地内にある、倒され折れた忠魂碑は、当時を振り返る貴重な遺跡だと考える。説明版を設置するのが適当ではないか。

答　地域の歴史資料の一つと認識している。説明版の設置予定はないが、平和之塔に関するリーフレットの記述を改訂する際には、忠魂碑の内容についても検討していく。



公開と改革

みたに　ひでつぐ
三谷英継

学校の設備・備品の維持管理について

問　定住人口の増、移住者の増と多く言われているが、例えば塀や遊具など学校の施設や設備が壊れて長期間使用できない状況では、定住先として選ばれないと考える。学校の設備や通学路など、市民生活や子どもたちの生活に根付いた環境整備に力を入れていただきたい。市長の見解を伺う。

答　議員ご指摘のとおりであり、学校を訪問した際には、子どもたちの意見や切実な思いを伺っている。教育委員会とともに意見を取り入れながら、子どもたちや子育て世代の方々に佐倉市に住んでいただけるよう、努力していく。

歴史・自然・文化を生かしたまちづくり

問　佐倉市の特色である歴史・自然・文化を生かした施策の効果・成果について、どのような成果指標を設定し、郷土への愛着、観光客数、転入超過数への効果を把握しているのか。また、これまでの施策について十分な成果が出ていると評価しているのか、市の見解を伺う。

答　重点戦略の一つであり、佐倉の魅力を発信、人の流れをつくり、定住につなげることを位置付けている。指標として 20 歳から 49 歳における転出超過の解消を掲げているが解消には至っていない。郷土への愛着は、市民意識調査の結果から８割前後の市民が佐倉市を好きと回答。観光客数は、佐倉市らしさを生かした取り組みが市内外から評価されていると捉えている。引き続き佐倉市の魅力的な資源に磨きをかけ、市内外へ発信し、訪れたい、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進していく。

問　教育・観光・地域振興等の施策を横断的に連携させ、市全体のブランド形成につなげていく考えはあるか、市の見解を伺う。

答　部局横断的に取り組みを進めている。地域資源を生かし、ブランド形成、魅力向上・発信につながる取り組みを進めていく。

個人質問



さいとう　ひろゆき
齋藤寛之

さくら会

命を守るＡＥＤ整備について

問　市が設置しているＡＥＤは施設の休日や夜間には利用できない場合がある。
学校は地域活動や災害時の避難拠点としての役割も担う。県立学校などで進むＡＥＤの屋外設置の取り組みを踏まえ、市立小中学

校をはじめとした公共施設でも 24 時間利用できる環境を整える考えがあるか伺う。
答　屋外設置は、施設の休館日や夜間でも利用ができ、救命率の向上や市民の安心につながる有効な取り組みの一つと認識している。保管環境や防犯対策などの課題があるため、他自治体の取り組みや維持管理経費などを調査研究し、その結果を踏まえ屋外設置を検討する。
問　令和 10 年度のリース契約更新に向け、施設ごとの利用状況や設置条件、優先順位、運用方法、費用などについて、今から計画的に調査・検討する考えがあるか伺う。
答　施設ごとの利用状況や設置条件、設置コスト、維持管理方法、防犯対策等を検証するとともに、他自治体の先進事例も参考にしながら、24 時間利用可能なＡＥＤ設置の在り方について調査研究を進める。



はしおか　きょうみ
橋岡協美
自由民主さくら

広報と振り込め詐欺対策について
問　全戸配布、民間事業者によるポスティング、戸別配布制度の周知強化など、今後の配布方法を改めて検討する考えがあるか。
答　効果と課題の双方を踏まえ、適切な配布手法について引き続き検討を重ね、ポスティング制度も周知の充実に努める 。
問　詐欺電話が集中する地区に緊急性の高い注意喚起を配信する考えがあるか伺う。
答　緊急性の高い案件は速やかに情報発信し、警察と連携して注意喚起を行う。

災害から市民の命を守る避難支援体制
問　指定避難所における空調設備、熱中症対策について伺う。
答　空調設備が使用できる部屋は把握しており避難所環境等を踏まえ適切に対応する。

ペロブスカイト太陽電池を活用した農業振興について
問　ペロブスカイト太陽光発電は従来の太陽光発電と何が違うのか伺う。
答　薄く軽量で設置場所の自由度が高く、半透明化が可能なため光を確保しながら営農と発電の両立が期待される。また、主原料のヨウ素を国内で調達しやすい点もある。



みつもと　なるあき
密本成章
さくら会

森林整備流域連携協定を契機としたＥｃｏ－ＤＲＲおよび広域的な流域治水の推進
問　近年、局地的な豪雨や想定を超える風水害が全国各地で発生しており、気候変動適応と災害に強いまちづくりの重要性が高まっている。雨水排水施設等の強化は重要であるが、一方で自然環境が持つ多面的な機能をグリーンインフラとして活用し、防災・減災に生かす視点も重要。この考え方はＥｃｏ－ＤＲＲ（生態系を活用した防災・減災）と呼ばれている。こうした中、県と本市を含む鹿島川流域自治体で森林整備を進める県内初の協定が締結された。この協定を鹿島川流域全体の防災力を高めるＥｃｏ－ＤＲＲおよび流域治水の先駆的な取り組みへ発展させることが重要であるが、どう認識しているのか。
答　重要インフラ施設への倒木被害の未然防止や、水源涵養、土砂流出防止等、森林が本来有する機能を通じて災害リスクの低減を図るものであり、Ｅｃｏ－ＤＲＲおよび気候変動適応の考え方に沿った取り組みの一つであると認識している。また、流域治水を構成する取り組みの一つと捉えている。



はせがわ　やすひろ
長谷川泰弘
公明党

ｅスポーツの活用について
問　佐倉市では、高齢者福祉施策の中でｅスポーツをどのように位置付け、今後どのような展開を想定しているか伺う。
答　市としては、地域の通いの場など、既存事業との親和性も含め、福祉分野における活用の可能性について引き続き検討していく。また、ｅスポーツは多世代交流や地域コミュニティーの活性化にもつながる要素があるため、活用の在り方について、関係部署とも協議しながら取り組んで行く。

終活支援について
問　人生の最終段階を安心して迎えられる環境づくりは高齢者福祉の重要なテーマで終活支援の充実が求められる。身寄りのない高齢者への支援制度開始を見据え、現在どのような検討や準備を進めているか伺う。
答　社会福祉協議会が国に先行する独自事業として検討を進めている、仮称「身寄りのない高齢者等への生活サポート事業」の検討委員会に市職員も参加し、準備・検討を進めている。
問　身寄りがなくても佐倉市なら安心、と思っていただける地域づくりを要望する。



いとう　としこ
伊藤とし子
市民ネットワーク

深刻化する環境過敏症（香害問題）対策
問　合成洗剤、柔軟剤、殺菌剤、殺中剤等で環境過敏症が重篤化し、外出もできず、病院にも行けない被害者が出ている。幼少期に発症すると、行動障害、発達障害を合併する率が高いとの報告がある。全国１万人の児童生徒を対象にした調査では、未就学児２％、中学生では 13％に症状が出ており、内２％が不登校傾向にある。学習権を保障するための取り組みについて伺う。
答　国・県からの情報は職員会議等で共有。学校だより等により香りで体調不良となる子がいることを周知。啓発ポスターも掲示。
問　保健調査票での対応状況を伺う。
答　今年度より化学物質過敏症について記入するよう周知。中学校で２件記載あり。給食白衣の対応や、職員間で情報共有した。
問　防災計画、避難所運営マニュアルの要配慮者の中に、香害、化学物質過敏症患者を明記する必要がある。対応を伺う。
答　化学物質過敏症等で体調不良を生じることは認識している。要配慮者に含まれると考えており、福祉避難室等の活用を検討。マニュアルの記載内容を検討していく。



まつしま　こずえ
松島　梢
市民ネットワーク

子育て施策について
問　６月の報道で、市の保育料は、県内自治体中１番高く、年間 70 万円の差が生じている階層もあると判明。この要因は何か。
答　国の上限額と同額に設定。他自治体が国基準より引き下げたためと考える。
問　小学校の給食無償化が始まり、同時期に独自予算で中学校も無償化した自治体が多い。中学校は制服や部活動、高校受験など多くの費用がかかり、保護者の負担も大きい。無償化の検討状況はどうか。
答　子育て世帯の負担軽減は重要な課題。国や県、他自治体の動向を調査し検討する。

佐倉ふるさと広場拡張整備事業について
問　用地購入や水辺拠点整備などを含めた総事業費は約 21 億円。駐車場整備工事の予算が、資材や燃料費の高騰などにより約 6092 万円増額。今後の増額の見込みは。
答　現時点で増加額を見込むことは困難。

部活動地域展開について
問　一つの地域クラブに必ず指導者２名を配置とされているが、現状はどうか。
答　指導者の確保が難しく１名体制のクラブもある。関係団体と連携し確保に努める。



なべた　たつこ
鍋田達子
公明党

表町の水害対策について
問　高崎川流域・表町周辺は以前から水害に見舞われてきた。竜灯橋の排水ポンプの

増強など浸水対策の強化について伺う。
答　国へ排水ポンプ整備等への財政支援・印旛沼の常時水位の引き下げ等を直接要望した。今後も被害軽減に全庁で取り組む。

通学路の安全対策の取り組みについて

問　郷の台橋周辺の対策について伺う。
答　昨年度速度抑制の段差舗装の修繕、側道の路面標示の更新を実施。今年度はグリーンベルトと反射材の新設を実施予定。

ＳｌｏｗｆｏｒＫｉｄｓ宣言について

問　子供たちを見かけたらできるだけ減速して通過しようというＳｌｏｗｆｏｒＫｉｄｓ宣言を行い、市のオリジナルステッカーを庁用車等に張って走行してはどうか。
答　子供を地域全体で見守ろうという趣旨に賛同し、実施に向け取り組む。

猛暑における市民の健康を守る取り組み

問　青少年体育館への冷房設備導入を問う。
答　今回スポットクーラー２台を設置した。
問　適切な冷房設備の台数を配置し順調に稼働できるよう電気設備の増設も要望する。



いなだ　としあき
稲田敏昭

宮前１丁目付近の造成工事について

問　今年の春頃から造成工事が始まり、早朝４時半頃から、重機作業、ダンプの通過などにより、騒音や振動でゆっくり眠れない状態が続き、近隣住民の生活に支障を及ぼす状況が発生した。佐倉市の調査で、事業者の残土条例違反が確認され、市は残土の搬入を禁止する行政指導を行い、「違反現場です」という看板を設置した。しかし、是正されたことで看板は撤去された。この残土条例違反が是正されたとはどのような状態か伺う。
答　土地の埋め立て及び土質等の規制に関する条例の適用対象となる 300㎡以上の埋め立てが無許可で行われていたが、埋め立て面積が 300㎡未満に是正されたことで看板を撤去した。
問　二度有ることは三度有るというが、また違反の看板が設置された。対策を伺う。
答　現在実施しているパトロールを継続するとともに、地域住民や関係課と情報共有し適切に対応していく。
問　市としても市民が安心して生活できる環境を守るため県に働きかけを。



ためだ　ひろし
爲田　浩

さくら会

佐倉ふるさと広場拡張整備事業について

問　なぜ今、本事業を進める必要があるのか。また、整備によって市民の日常にどのような新しい価値が生まれるのか。
答　駐車場不足やイベント開催時の渋滞、飲食・休憩施設の不足などの課題を改善するため事業を進める。年間を通じて幅広い世代が楽しめる施設へと転換し、にぎわい創出や地域活性化につなげる。
問　年間約 47 万人という来場者数の根拠は何か。また、供用開始後の成果をどのように検証するのか。
答　交通量や立寄り率、想定した乗車人数、過去のイベント来場者数などから算出した計画上の推計値である。満足度、安全性、利用の多様性、周辺地域への回遊状況などを総合的に評価し、その結果を公表する。
問　長年の交通課題をどのように改善し、周辺地域への負担軽減を図るのか。
答　右折レーンや新規出入口の整備、場内動線の改善、約 450 台の駐車場確保により混雑緩和を図る。併せて臨時駐車場、交通誘導員の配置による交通の円滑化に努め、自家用車以外のアクセス手段も検討する。



みついよしふみ
三井義文

外国人対策の政治姿勢について

問　外国人共同体と共生していくため、外国人児童生徒も日本人と同様に、就学義務を条例で定めることが重要。見解を伺う。
答　条例に定めることは適当ではないと考える。今後も法令等に基づき対応していく。
問　外国人対応に特化した専門部署の創設が必要ではないか。
答　広報課内に多文化共生に関する特命担当を配置し、課題の把握等に努めている。

不登校から見た教育改革について

問　不登校以外でも学校になじめない子は多くいる。施設等での受け入れは何人か。
答　ルームさくら 48 人。重複も含むが、校内教育支援センター利用者数は 263 人。
問　座学中心のルームさくらを見直し、五感を磨く多様な支援を検討してはどうか。
答　他自治体の取り組み等を参考にし、より幅広い支援の在り方を検討していく。

文化遺産保全の市の姿勢について

問　観光資源としての未指定文化財の保存や活用の取り組みについて伺う。
答　地域の歴史や文化を理解する大切な資源であり価値や保存状況の確認等に努める。



きざき　としゆき
木崎俊行

日本共産党

災害対策、避難所の質と量について

問　豪雨でも震災でも酷暑でも大きな役割を果たす避難所のエアコンについて、小中学校の避難所全体に、市が独自で設置した場合の金額はいくらか。また、１校当たりの金額はおおよそいくらになるのか伺う。
答　１校当たり約１億５千万円程度、34 校全てに整備すると、約 51 億円の事業費が必要であると考えている。
問　エアコンの設置について、債務負担行為などで対応することはできないか。
答　国庫補助も活用しながら、順次進めていきたいと考えている。

ハザードマップの更新について

問　今回の豪雨被害を受けて、ハザードマップの更新が必要だと考えるがどうか。
答　今後、国および県が公表する洪水浸水想定区域図などの動向を注視し、適切に更新していく。
問　被害を受けた方を訪問し、ハザードマップの更新について話を伺ったところ、この家が唯一の財産であるなど切実な声も聞いている。更新の際は、住民の方々と十分に話し合って進めていただきたい。



しきね　ふみひろ
敷根文裕

さくら会

豪雨災害・子ども・防犯の提案を形に

問　災害・豪雨時の通行止めや冠水情報を地図上でリアルタイムに周知し、冠水危険箇所への警告標識の設置をまずは進めるべきと考えるが見解を伺う。
答　迅速な状況把握につながる情報提供の充実は重要と認識している。冠水対策として警告標識や水位標の準備を進めている。
問　子どもの体験機会を広げ、体験格差の是正として市内体験事業を年間カレンダーとして一覧化、官民連携によるモデル事業、子ども体験パスポートにつなげてはどうか。
答　市ホームページのイベントカレンダーを活用し子ども体験機会の一覧化を進める。体験パスポートも意義ある提案と認識し、モデル事業を含め今後、検討する。
問　高齢化で減少する地域の目を補うため、愛犬家によるわんわんパトロールを写真入り隊員証の活用で広げてはどうか。
答　警察や県獣医師会と連携し、市主催事業等を活用して周知を進める。犬の散歩や買物など日常生活で行う「ながら防犯」は、地域防犯力の向上や新たな担い手の確保につながる有効な取り組みと認識している。

マチイロ
スマートフォン用アプリ『マチイロ』で、佐倉市議会だよりをご覧いただけます。

一般質問の詳細については、市役所１号館２階市政資料室・市内各図書館にて会議録（11 月中旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（11 月中旬配信予定）からご覧いただけます。

議案賛否一覧

議決結果　可：可決／否：否決／同：同意／認：認定／○：賛成／×：反対／議：議長／徐：除斥

議案番号	議案名	議決結果	会派	さくら会										自由民主さくら				公明党				市民ネットワーク			日本共産党		公開と改革		会派に属さない議員		
			No.	8	10	17	18	22	23	24	25	26	28	9	13	14	21	4	15	16	27	11	19	20	3	12	1	5	2	6	7
			議員	齋藤寛之	密本成章	望月圧子	斎藤明美	敷根文裕	村田穣史	高木大輔	爲田浩	平野裕子	櫻井道明	石井秀明	徳永由美子	橋岡協美	山本英司	長谷川泰弘	押木孝和	鍋田達子	岡村芳樹	松島梢	伊藤としこ	五十嵐智美	石井昇	木崎俊行	三谷英継	髙橋とみお	三井義文	稲田敏昭	宇田みおこ
市長提出議案	※白抜き数字は諮問番号																														
1	令和7年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
2	令和7年度佐倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和7年度佐倉市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和7年度佐倉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
5	令和7年度佐倉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	令和7年度佐倉市災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	令和7年度佐倉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	令和7年度佐倉市水道事業会計決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
9	令和7年度佐倉市下水道事業会計決算の認定について	認		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
10	令和8年度佐倉市一般会計補正予算（令和8年8月24日議決）	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	令和8年度佐倉市一般会計補正予算 (修正案)	否		×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
	(原案)	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	令和8年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	令和8年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	令和8年度佐倉市下水道事業会計補正予算	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	佐倉市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	佐倉市新庁舎整備基本構想検討委員会条例の制定について	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	佐倉市地域福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
18	佐倉市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	佐倉市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	佐倉市景観条例の一部を改正する条例の制定について	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	契約の締結について（佐倉市民体育館改修建築工事）	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	契約の締結について（佐倉市民体育館改修機械設備工事）	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	契約の締結について（佐倉市民体育館改修電気設備工事）	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	教育委員会委員の任命について（水口　祐美（みずぐち・ゆみ）氏）	同		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	教育委員会委員の任命について（吉村　真理子（よしむら・まりこ）氏）	同		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	令和8年度佐倉市一般会計補正予算（令和8年8月24日議決）	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	令和8年度佐倉市災害共済事業特別会計補正予算（令和8年8月24日議決）	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	財産の取得について（ふるさと広場拡張整備事業により整備する公園の用地として、土地を取得するもの）	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
1	人権擁護委員候補者の推薦について（福原　正和（ふくはら・まさかず）氏）	同		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	人権擁護委員候補者の推薦について（三橋　まゆみ（みつはし・まゆみ）氏）	同		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	※数字は発議案番号																														
1	防災庁発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書	可		○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	防衛費を抑制して防災費を大幅に増額し、国民の命と財産を守ることを強く求める意見書	否		×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×
4	国際刑事裁判所（ＩＣＣ）赤根所長への米国による制裁措置について強く抗議し、制裁撤回を米国に要求することを求める意見書	否		×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

議案に対する会派等の意見

さくら会

議案第１号から第９号までの各決算に賛成
一般会計については、物価高騰や人件費の上昇など地方財政を取り巻く環境が厳しさを増す中でも、実質単年度収支を３年ぶりに黒字へ転換させるなど、健全な財政運営に努めたことを評価した。また、各特別会計、水道事業及び下水道事業会計についても、適正かつ公正に執行され、その効果が認められることから各決算に賛成した。さらに、福祉、教育、子育て支援、防災対策、公共施設の整備・改修、産業振興など、市民生活に直結する施策が着実に実施されたことを高く評価した。また、全国各地で地震や豪雨などの自然災害が頻発する中、県内唯一の気候変動適応センターを設置し、先進的に取り組んでいることを評価した。
あわせて、今後の市政運営に関し、会派として次の６点を要望した。１．近年の台風や線状降水帯の発生など想定を超える事象を踏まえ、事前の備えと関係機関等との連携強化による防災力の向上を図ること。
２．人口減少や少子高齢化の進展を見据え、デジタル技術やＡＩの活用による業務効率化と市民サービスの向上、ＤＸや公共施設マネジメントの推進により、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な行財政運営に取り組むこと。３．脱炭素社会の実現に向けた「緩和策」と、気候変動による影響から市民の生命と暮らしを守る「適応策」を着実に推進するとともに、グリーンインフラの視点を取り入れた持続可能なまちづくりを進めること。４．保育環境の確保や多様な教育ニーズへの対応を進めるとともに、子どもたちが安心して学び成長できる環境づくりの充実を図ること。５．企業誘致や農業振興、ふるさと納税の推進などによる地域経済の活性化とさらなる産業振興、担い手確保に努めること。６．高齢者、障害のある方、生活困窮者など支援を必要とする方々が安心して暮らせるよう就労支援や農福連携を含めた福祉施策の充実を図ること。
議案第 11 号に対する修正案に反対
佐倉ふるさと広場拡張整備事業は、本市を代表する観光・交流拠点である「ふるさと広場」の魅力向上を図り、佐倉らしい景観や地域資源を次世代へ継承するとともに、交流人口の増加や地域活性化につながる重要な事業である。民間活力を生かした観光振興やにぎわい創出も期待できることから、修正案に反対した。

佐倉市議会のホームページもご覧ください。

自由民主さくら

議案第１号令和７年度決算認定に賛成。実質単年度収支が３年ぶりに黒字転換したことを評価するが、財政構造の硬直化が続き財政力指数も低下傾向にあるため自主財源の確保と事務事業見直しを求めた。公共施設再配置は市民生活への影響が大きく、統廃合等の際は丁寧な合意形成が必要である。こうほう佐倉の配布は新聞購読率低下を踏まえた検討が必要であり多様な媒体での情報発信、住宅リフォーム支援や空き家活用の周知強化、成田空港の機能強化を踏まえた住宅需要への対応、校内教育支援センターにおける相談員の増員および配置時間の拡充 、おたふくかぜの重篤な合併症を踏まえたワクチン助成の検討、ふるさと広場拡張整備における城下町との回遊性向上を求めた。
議案第 14 号は上志津調整池の整備に関し、豪雨対策の効果検証と排水能力の見直し、予備排水や地下雨水貯留施設、グリーンインフラなど総合的な対策を求め賛成した。

公明党

議案第１号～第９号の各決算関係議案に賛成
人口減少、社会保障関係経費の増加、公共施設およびインフラの更新需要、公営企業会計の経営課題等に十分留意し、持続可能な財政運営を進めつつ、限られた財源を有効に活用するため、全ての事業に不断の検証を行い、必要性、緊急性、費用対効果を踏まえた優先順位付けを徹底すること。
議案第 14 号に賛成
上志津調整池の整備は、10 年前の平成 28 年８月２日に志津地区で発生した局地的な豪雨災害、手繰川第１一号幹線周辺の被害に起因するもの。専門家や降雨シミュレーション等の詳細な検証を経て、浸水被害の軽減策として上志津調整池事業に至った。事業変更等さまざまな変遷を経たとはいえ、時間がかかり過ぎている。まして浸水被害が続くと住民の期待が高まるのは言うまでもない。今後滞りなく完成することを切に願う。

市民ネットワーク

議案第１号に反対の主な理由
水源確保事業は、霞ヶ浦導水の出資金等の総額は約６億円。完成後も送水管等の整備に約 30 億円。水道料金値上げの要因となるため撤退すべき。ふるさと広場拡張整備事業は、水辺デッキ等を含め総事業費約 21 億円。水辺デッキは当初 7700 万円が１億 2310 万円に増額。飯野Ⅱ－３１号線道路建設は、総事業費約 11 億円。資材高騰等で事業費が増額し、今後どこまで膨らむか不明。物価高騰で市民生活が苦しい中、大型公共事業に多額の税金を投入し続ける市政は問題。予算は福祉や教育費、生活道路整備、激甚化する災害から市民の命と財産を守る防災費に振り向けるべき。

日本共産党

令和７年度決算認定、補正予算にも「ふるさと広場拡張整備事業」関連予算がある。本事業は観光施策だが市民が得る利益を示す指標はない。市外の事業者がＰＦＩ事業や指定管理者制度による事業運営を担う一方、市内の事業者の活躍の場も十分に見込めない。今後事業は周辺整備を含め約 30 億円となるが、さらなる事業費の増加が懸念される。豪雨被害などから命、暮らしを守る予算確保へこの一点で共闘が求められる。

公開と改革

議案第 11 号一般会計補正予算修正案を提出
佐倉ふるさと広場拡張整備事業について、事業費や将来負担の妥当性を検証するために必要な情報と説明が不足したまま関連経費を計上することに問題があると考える。来場者数予測や駐車場需要など、事業効果を判断する根拠も不十分であり、市民負担を伴う大型観光投資だからこそ、より慎重な検証と議会での十分な議論が必要であると考え、関連予算を見直す修正案を提出。

会派に属さない議員

議席 2 番
議案第 11 号に反対ふるさと広場拡張整備事業は観光拠点としての便益が不透明で、消防施設整備事業は消防署移転予定地が市境に近く市内への迅速な出動に不向き。決算認定では指定管理による財政硬直化を懸念。

議席 6 番
地球温暖化の影響と考えられる異常気象による豪雨災害等で多くの尊い命が奪われており、国民の命と財産を守るため、防災対策の一層の強化が必要であることから、発議案第３号の趣旨に賛同する。

議席 7 番
志津消防署移転建替えに係る土地購入費約 1.1 億円（青菅・約 6700㎡）に反対。
西志津多目的広場は活用方針が未定で、消防施設用地としても検討中。結論を待たず新たな土地を購入することは整合性を欠く。

※議席番号と議員名の確認は６ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案　◎委員長　○副委員長
審査結果欄　可：可決

総務常任委員会

開催日：令和８年８月 24 日、９月７日　　場所：第三委員会室、第四委員会室
委員：◎望月圧子／○鍋田達子／石井 昇／齋藤寛之／松島 梢／橋岡協美／爲田 浩



審査結果

議案10	議案11	議案12	議案15	議案16
可	可	可	可	可
議案21	議案22	議案23	議案26	議案27
可	可	可	可	可

文教福祉常任委員会

開催日：令和８年８月 24 日、９月８日　　場所：第三委員会室
委員：◎敷根文裕／○石井秀明／長谷川泰弘／稲田敏昭／斎藤明美／五十嵐智美／櫻井道明



審査結果

議案10	議案11	議案13	議案17
可	可	可	可

経済環境常任委員会

開催日：令和８年９月９日　　場所：第三委員会室
委員：◎平野裕子／○押木孝和／髙橋とみお／宇田みおこ／密本成章／伊藤とし子／山本英司



審査結果

議案11	議案18	議案19
可	可	可

建設常任委員会

開催日：令和８年９月 10 日　　場所：第三委員会室
委員：◎高木大輔／○徳永由美子／三谷英継／三井義文／木崎俊行／村田穣史／岡村芳樹

審査結果

議案11	議案14	議案20	議案28
可	可	可	可

付帯意見

上志津調整池整備工事については、過去の浸水被害や近年の豪雨災害を踏まえた重要な治水対策であることから、工期内の完成に向け着実に事業を推進されたい。

また、事業の進捗状況や整備効果について地域住民へ丁寧な説明を行うとともに、施設整備のみでは対応できないリスクについても十分な周知を図られたい。



議案を PICK UP!

議案第 10 号

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用した主な支援策

～子育て世帯への支援～

WE ラブ赤ちゃん応援便配布事業

令和５年４月２日から基準日までに出生した、児童１人につき２万円分の育児支援券（デジタルクーポン）を送付します。

～福祉施設等への支援～

障害福祉施設等
介護施設等
物価高騰対策支援金支給事業

訪問・通所系サービス事業所に対し、定員や利用者数などの規模に応じた支援金を支給します。

※事業の詳細については、準備が整い次第、市ホームページ等でお知らせします。

令和8年熊本地震についてのお見舞い

令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

佐倉市議会では、被災地の一日も早い復旧・復興を支援するため、全議員から募った義援金 28 万円を、令和８年８月 25 日に熊本県へ送金いたしました。

11月定例会の予定

議会運営委員会	11月17日(火)
招集日	11月24日(火)午後１時から
一般質問	11月30日(月)～12月3日(木)
常任委員会	12月 7日(月)～10日(木)
最終日	12月14日(月)午後1時から
陳情・請願の提出期限	
陳情提出期限	11月10日(火)午後４時30分
請願提出期限	11月16日(月)午後４時30分

定例会の予定は変更になることがあります。詳細は議会事務局までお問合わせください。　議会事務局 TEL.043-484-6254

本会議（招集日・一般質問・最終日）の映像について
開催時間中はインターネットでライブ中継。翌日、午後５時30分からＣＡＴＶ放映。おおむね７日後以降は録画中継を配信（予定）

議会百景

未来は皆さんのものです。今年も市内県立５校に通学する生徒さんとの意見交換会が近づいてきました。皆さんの声を議会として伺い、意見を交わす貴重な機会となるよう、広報公聴委員会で準備を進めています。　（広報公聴委員　石井 昇）

佐倉市議会では、令和５年から高校生との意見交換会を続けています。防災や人口減少など、市民と議論すべき課題もあります。議会として、幅広い市民の意見を聞く場を積極的に設ける必要があります。　（広報公聴委員　髙橋とみお）

決算審査特別委員会では前年度予算の執行内容や成果等について活発な質疑が行われました。議会だよりの紙面には限りがあることから、議会活動をより分かりやすく伝える方法を検討する必要があります。　（広報公聴委員　稲田敏昭）